

実施しました!「人権擁護委員による街頭啓発活動」 「人権擁護委員とふれあう会」



8月3日に寄居玉淀水天宮祭に合わせ、玉淀河原付近の街頭で人権擁護委員の皆さんが人権啓発うちわの配布を行いました。うちわを配りながら、さまざまな人権問題に対して一人ひとりの人権意識を高めることの重要性を呼びかけました。

また、8月7日には熊谷人権擁護委員協議会寄居部会が主催する社会福祉施設特設相談「人権擁護委員とふれあう会」が、介護老人保健施設「やまざくら」のご協力のもと開催されました。

町の人権擁護委員が中心となり、歌やゲームで入所者の皆さんとふれあい楽しいひと時を過ごした後、心配ごとの相談などを受けました。

なお、人権擁護委員は、毎月2回開催される「心配ごと相談」の相談担当者になっています。お気軽にご相談ください。



社会を明るくする運動 PR活動が行われました!

7月は社会を明るくする運動の強調月間でした。深谷地区保護司会寄居支部では、7月5日に深谷市の花園・川本地区保護司と合同で啓発パレードを行いました。当日は深谷市川本総合支所で出発式を行い、寄居警察署のパトロールカーを先導に深谷市の川本・花園地内および寄居町内をパレードし、犯罪や非行防止の啓発を行いました。

また、巡回啓発として、町内の学校訪問や寄居地区更生保護女性会による町内のスーパー4カ所での街頭広報活動を行いました。



「青少年の非行・被害防止 特別強調月間」キャンペーン実施!



7月10日に、城南地区児童生徒健全育成協議会(相根英俊会長)が鉢形駅で、7月11日に男衾地区青少年健全育成協議会(吉田芳雄会長)が男衾駅で、また、7月18日に寄居中学校区児童生徒健全育成協議会(松本幸男会長)が寄居駅と桜沢駅で、それぞれ午前7時から8時まで「青少年の非行・被害防止特別強調月間」キャンペーンを実施し、延べ69人の役員が参加しました。寄居駅に参加した役員は「夏休み前にキャンペーンを行うことで、長期休みをきっかけに始まりやすい青少年の非行防止につながればいいと思います。このキャンペーンを機に、非行防止への関心が高まってほしいです」と話してくれました。

開催しました! 夏休み科学実験教室

7月30日と8月7日、20日に埼玉工業大学で、町内の小学校5・6年生35人が参加した町主催の夏休み科学実験教室を開催しました。夏休み科学実験教室は、日ごろ体験できない専門的な学習をすることで、子どもたちの学習意欲を育むことを目的に行われました。

水のろ過実験や燃料電池車の作製を体験した子どもたちからは「砂でろ過した水と活性炭でろ過した水の違いや、燃料電池の仕組みがわかってとても楽しかったです。夏休みの学習成果として学校に提出したいと思います」と話してくれました。



開催しました! イングリッシュ・サマーキャンプ



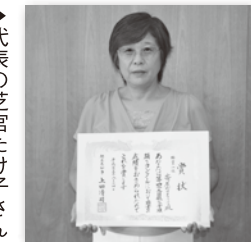
7月25日、26日に町主催のイングリッシュ・サマーキャンプを県立小川げんきプラザで開催し、町内の小学校5・6年生の児童45人が参加しました。キャンプでは、児童が外国人の英語指導助手(AET)と過ごし、本場の英語を体験して外国の文化にふれました。

参加した児童からは「キャンプファイヤーで作った外国のお菓子がとてもおいしかったです」、「英語で自己紹介ができるようになりました」、「新しい友達ができうれしいです」と喜びの声が聞こえました。

第四十五回秩父音頭踊りコンクール 「寄居町カタクリチーム」特賞受賞!



▶代表の芝宮たけ子さん



皆野町で8月14日に開催された第四十五回秩父音頭踊りコンクールで、寄居町カタクリチームが特賞一位の埼玉県知事賞を受賞されました。7年前に町内の方々で結成された寄居町カタクリチーム。今年は17人で出場し、大勢の観客の前で正調秩父音頭を披露されました。

代表の芝宮さんは「チーム全体で楽しむことを目的に毎月活動しています。素晴らしい賞をいただけて大変光栄です」と話してくれました。

開催しました! 木製プランターカバー製作イベント

第37回全国育樹祭イベントとして、県と町では7月27日に総合体育館・アタゴ記念館で木製プランターカバーの製作イベントを行いました。

町内小学校の児童および保護者が参加し、金槌と釘を使った組み立て作業に真剣に取り組みました。友達や家族と協力しながら、約200個のプランターカバーを完成させました。

でき上がったプランターカバーには花が入れられ、育樹祭会場周辺の飾花かざりばなに使用されます。

